

平成 30 年度京都府育種専門部会（茶業チーム）を開催

育種専門部会（茶業チーム）では、京都府育成品種のスムーズな普及・定着を目指して、宇治茶として新品種に求められる特性や育種方針について、毎年茶市場・流通業者団体・生産者団体等の関係機関と協議を行っています。

今年度は 1 月 29 日に開催し、現在育成中である煎茶用新品種候補の求評を行いました。その結果、外観の色が青く収量が多い系統、さわやかさ、香ばしさ、うま味を連想させる柔らかな香がバランスよく調和した香りの濃い系統については、次年度以降の試験で新品種としての適性を見極めていくことになりました。

また、抹茶ブームによる需要増加を背景とする中で、はさみ摘みてん茶品種に求められる特性について意見交換を行ったところ、「収量が確保できること」や現場導入時に作業分散を図るために「現行の主力品種と異なる摘採時期が必要」等の意見が挙がりました。

当所では、専門部会で得られた意見を活かし、ニーズを捉えた京都オリジナル品種育成を進めていきます。



煎茶用新品種候補について意見交換